

令和6年 第2回区づくり推進横浜市議員会議次第

日時：令和6年6月11日(火) 午前10時～

場所：都筑区役所6階大会議室

1 議 題

- (1) 令和6年度 都筑区に係る予算のすがたについて
- (2) 令和6年度 都筑区自主企画事業の主な事業と取組について

2 報告事項

- (1) 都筑区制30周年の取組について
- (2) 令和6年度のGREEN×EXPO 2027（2027年国際園芸博覧会）の機運醸成の取組について



令和6年第2回

区づくり推進横浜市議員会議

会議資料

令和6年6月11日

都 筑 区

目 次

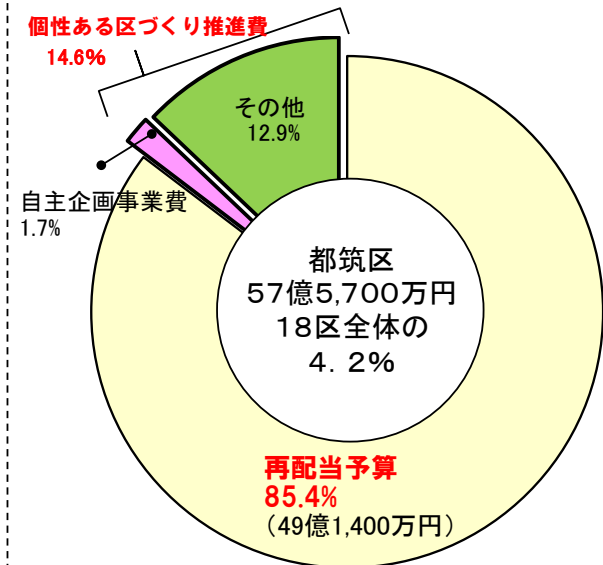
令和6年度 都筑区に係る予算のすがた（令和6年度一般会計予算）	3
令和6年度 主な事業内容	4
令和6年度 都筑区編成予算 総括説明書	5
施策1 子育て世代をはじめ、あらゆる世代が住み続けたいと思えるまち	
1 30周年記念事業 新規 W	8
2 妊娠期から学齢期までの切れ目のない子育て支援事業 新規 拡充 W	10
3 つづき健康づくりサポート事業 拡充 W	16
4 食と暮らしの安全推進事業 W	18
5 自治会町内会の地域運営応援事業 W	21
6 地域活動の活性化事業（区民活動センター・読書活動・青少年のボランティア） 拡充 W	23
7 都筑区地域福祉保健計画「つづき あい」推進事業 W	27
8 障害者交流啓発事業 新規 W N	29
9 まちづくり総合調整事業 W N	31
10 危機管理対策推進事業 W	33
11 災害にそなえる自助・共助の推進事業 W	34
12 安全・安心なまちづくり事業 W	37
13 広報・広聴事業 W	39
14 スムーズ区役所事業 W	40
施策2 活力とにぎわい、魅力あふれるまち	
15 横浜ビー・コルセアーズを活かしたホームタウン活動推進事業 新規 W	42
16 文化とスポーツであふれるまちづくり推進事業 W	44
17 都筑区民まつり支援・地域の賑わいづくり事業 新規 W	46
18 在住外国人支援・国際交流事業 拡充 W	47
19 メイドインつづき推進事業 W N	49
施策3 花と緑にあふれ、豊かな環境を育むまち	
20 環境にやさしいまち推進事業 W N	50
21 みんなで花と緑のまちづくり事業 拡充 W N	52

※ **W** はウェルビーイング（WELL-BEING）、**N** はネイチャーベースドソリューション（Nature based Solution）に資する事業です。

令和6年度 都筑区に係る予算のすがた（令和6年度一般会計予算）

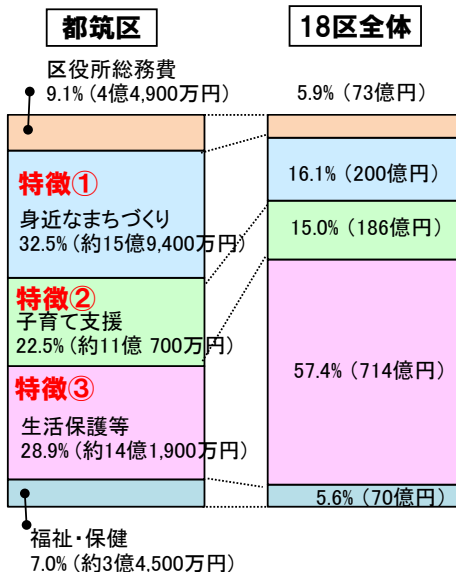
一般会計は、福祉、保健、道路・公園の維持管理など基礎的な行政サービスを行う会計で、主に市税（市民税及び固定資産税など）などが使われています。横浜市の一般会計の予算規模は1兆9,156億円ですが、このうち区が執行している予算の規模（区の人件費は含まない）は18区全体で、1,386億円です。

【グラフ1 都筑区の予算規模】



【グラフ2 再配当予算の構成】

～18区全体との比較～



個性ある区づくり推進費 14.6% (8億4,376万円)

【内訳】

自主企画事業費	1億24万円
その他	7億4,352万円
└ 統合事務事業費	3,897万円
└ 区庁舎・区民利用施設管理費	7億455万円

都筑区の予算の特徴

令和6年度一般会計予算の中で、都筑区が執行している予算の規模（人件費は含まない）は、57億5,700万円となっており、18区全体の予算のおよそ4.2%を占めています。

このうち、区が自律編成を行う「個性ある区づくり推進費」は、8億4,376万円となっており、都筑区に係る予算の14.6%となっています。

「個性ある区づくり推進費」は、地域の課題やニーズに迅速かつきめ細やかに対応するための「自主企画事業費」や、広報よこはま区版の発行経費、郵送費や消耗品費等の「統合事務事業費」、区総合庁舎や区民利用施設の管理・修繕費などの「区庁舎・区民利用施設管理費」で構成されています。

区に係る予算の中でも大部分を占めているのは、局から予算の再配当を受け区が執行している「再配当予算」で、都筑区全体の85.4%に及び、予算額は49億1,400万円となっています。

「再配当予算」の都筑区の特徴

- ①「身近なまちづくり」（土木事務所が執行する道路・公園等の維持管理に係る予算）・・・15億9,400万円
区が管理する公園面積は134万7,146㎡で、18区中1位の面積を有しており、予算額は18区中2位となっています。
- ②「子育て支援」（市立保育所の運営や放課後児童育成などに係る予算）・・・・・・・・・・11億700万円
年少人口（0～14歳）は、構成割合は1位・人数は5位と、ともに市内で上位であり、予算額は18区中8位となっています。
- ③「生活保護等」（生活困窮者に対する扶助費を支給するための経費などに係る予算）・・・14億1,900万円
生活保護費支給世帯数は令和6年3月末現在1,204世帯であり、世帯数、予算額ともに18区中18位となっています。

※ 「再配当予算」: 令和5年度までの「区配付予算」

令和6年3月に「横浜市予算、決算及び金銭会計規則」を廃止し、同4月に「横浜市予算規則」を制定したことにより、名称が変更されました。

令和6年度主な事業内容

(単位:百万円)

分類	予算	説明
個性ある区づくり推進費	844	区の裁量や創意工夫に基づき自律編成する予算
自主企画事業費	100	地域の身近な課題やニーズに、迅速かつ、きめ細かく対応するための事業費です。
統合事務事業費 区庁舎・区民利用施設管理費	744	広報よこはま各区版の発行や各区市民相談、青少年指導員等の活動、生活保護及び戸籍・住民登録等に係る経費及び区庁舎や地区センターなどの区民利用施設の管理運営に係る経費です。
再配当予算	4,914	局からの予算再配当を受け、区が執行している予算
区役所総務費	449	(総務部が執行する予算です。)
賦課徴収費	151	市税の課税・納税に関わる償還金や還付加算金、納税通知書の作成や発送するための経費などです。
広報費	13	「広報よこはま」や「県のたより」の配布謝金など、広報・広聴に係る経費です。
統計調査費	1	各種統計調査を行うための経費です。
地域活動推進費等	284	戸籍住民登録の事務費、各種選挙の実施、自治会・町内会組織助成などを行います。
身近なまちづくり	1,594	(土木事務所が執行する予算です。) *下水道事業を含むと 1,756 百万円
道路修繕費等	1,101	道路の修繕や交通安全施設の整備・補修などを行います。
河川維持管理費等	34	準用河川の維持管理や親水水路の維持管理などを行います。
下水道事業(※参考)	(162)	既設管の修繕や共同排水設備の受託施工などを行います。
公園管理費等	459	身近な公園の維持管理や老朽化した公園施設の改良などを行います。
子育て支援	1,107	(福祉保健センター等が執行する予算です。)
市立保育所運営	102	保育が必要な乳児、幼児を保育する保育所の運営費
放課後児童健全育成	814	放課後キッズクラブ運営委員会への補助金等
その他	191	地域子育て支援拠点、小児医療費助成等
生活保護等	1,419	(福祉保健センターが執行する予算です。)
生活保護	1,391	生活困窮者に対して、国の定める基準により、その困窮の程度に応じて扶助費を支給するための経費などです。
生活困窮者自立支援	28	生活保護に至る前段階の生活困窮者に対して、国の定める基準に基づき、自立に向けた包括的な相談支援を実施するための経費などです。
福祉・保健	345	(福祉保健センターが執行する予算です。)
障害者福祉	130	身体障害児・者の身体機能を補う用具、日常生活を円滑にするための各種用具の給付・貸与を行うほか、障害状況等に合わせた住宅改造や自立支援機器の購入・取付に関わる経費の助成などを行います。
高齢者福祉	27	老人クラブへの助成や寝たきり高齢者等への日常生活用具の給付・貸与に関わる経費。介護予防型のデイサービス事業(介護保険対象外事業)などを行います。
その他	188	地域ケアプラザの管理運営経費や民生委員・児童委員の活動費の支給などを行います。
合計	5,757	(※) 下水道事業を含むと 5,919 百万円

- ・各項目で四捨五入しているため、合計額と一致しない場合があります。
- ・年間を通じた概ねの再配当額を算出していますので、あくまでも区に係る予算の大まかな全体像を示した内容となっています。現時点では区への再配当額が未定のため、区へ再配当する予定額を18区均等配分したものや按分したものも含まれています。

令和6年度 都筑区編成予算 総括説明書

＜個性ある区づくり推進費総括表＞

(単位：千円)

区 分	令和6年度	令和5年度	増△減
1 自主企画事業費	100,237	100,358	△ 121
2 統合事務事業費	38,972	41,112	△ 2,140
(1) 統合事務費	20,889	21,529	△ 640
(2) 統合事業費	18,083	19,583	△ 1,500
3 区庁舎・区民利用施設管理費	704,548	676,770	27,778
合 計	843,757	818,240	25,517

＜内訳＞

1 自主企画事業費

施 策 の 柱	令和6年度	令和5年度	増△減
(1) 子育て世代をはじめ、あらゆる世代が住み続けたいと思えるまち	77,285	77,670	△ 385
(2) 活力とにぎわい、魅力あふれるまち	17,951	18,003	△ 52
(3) 花と緑にあふれ、豊かな環境を育むまち	5,001	4,685	316
合 計	100,237	100,358	△ 121

2 (2) 統合事業費

区 分	令和6年度	令和5年度	増△減
広報よこはま発行事業	10,008	10,820	△ 812
市民相談事業	1,538	1,559	△ 21
クリーンタウン横浜事業	1,330	1,460	△ 130
消費生活推進員活動事業	245	448	△ 203
緊急時情報システム運用事業	433	440	△ 7
スポーツ推進委員支援費	1,311	1,895	△ 584
青少年指導員事業	1,698	1,441	257
学校・家庭・地域連携推進事業	1,520	1,520	0
合 計	18,083	19,583	△ 1,500

3 区庁舎・区民利用施設管理費

区 分	令和6年度	令和5年度	増△減
区庁舎等管理費（光熱水費含む）	242,333	223,141	19,192
区版市民活動支援センター*	931	931	0
土木事務所管理費（光熱水費含む）	7,070	6,518	552
地区センター等管理費	185,901	183,009	2,892
ログハウス管理費	9,443	9,157	286
公会堂管理費（光熱水費含む）	36,731	34,094	2,637
老人福祉センター等管理費	111,760	110,584	1,176
コミュニティハウス管理費	53,350	52,843	507
区スポーツセンター管理費	43,880	42,496	1,384
都筑多文化・青少年交流プラザ管理費	8,369	8,125	244
その他（広場・遊び場）	280	382	△ 102
区庁舎・区民利用施設修繕費	4,500	5,490	△ 990
合 計	704,548	676,770	27,778

* 以下、区民活動センターとします

令和6年度 都筑区個性ある区づくり推進費 予算編成の考え方

都筑区は、令和6年11月に区制施行30周年を迎え、令和7年3月には都筑区民文化センターの開所を予定しています。この機をとらえ、より一層、地域、企業・団体等の多様な主体との協働・共創に取り組み、地域の実情、課題、思いを共有し、地域課題の解決や更なる発展に向けて取り組みます。

予算編成にあたっては、中期計画の基本戦略の一層の推進や効果的な事業の実施のための施策の検討を進めるとともに、これまで以上に積極的に区民の声を反映した編成を行いました。地域や各種団体との話し合いでいただいた課題等の共有、各課の事業で行った区民アンケートや市民・区民意識調査結果を踏まえることで、事業の対象となる関係団体や、これまで十分に把握できなかった世代を含む幅広い年代層のニーズを把握し、事業の必要性などを確認しました。また、区役所の組織横断的な取組として、区制30周年記念事業については、所属部署に関係なく若手職員に自由な発想でアイデアを募り、事業化を図っていきます。

これらの取組により、「『つながり』『活力と魅力』『安心』を実感できるまち、ふるさと都筑」を実現していきます。

令和6年度 都筑区個性ある区づくり推進費 自主企画事業費予算 概要

都筑区は、中期計画で定める「子育てしたいまち 次世代を共に育むまちヨコハマ」及び「住みたいまち」・「住み続けたいまち」の実現や、地球規模の課題である脱炭素社会の推進に向けて取り組みます。

特に、子育て世代の多い都筑区において、誰もが安心して子育てできるよう、妊娠・出産期から学齢期まで、切れ目のない子育て支援に取り組みます。また、区制30周年の節目を区民と祝うことで、都筑愛のさらなる醸成を目指します。緑地や農地の多い都筑区において、更に花と緑にあふれるまちを目指し、区内の地域資源である公園や緑道などの整備や脱炭素化に資する取組をします。また、様々な主体と連携し緑化活動に取り組みとともに、2027年国際園芸博覧会「GREEN×EXPO 2027」の機運醸成を図ります。

「WELL-BEING」（幸福で肉体的、精神的、社会的すべてにおいて満たされた状態）及び「Nature based Solution」（自然に根差し、自然を利用した社会課題の解決）の理念を基に、これらを横断的に連携して取り組むことで相乗効果を図ります。

施策1 子育て世代をはじめ、あらゆる世代が住み続けたいと思えるまち

予算額 77,285 千円(対前年度比 ▲385 千円)

子育て世代が多く、転入者の割合も高い都筑区において、赤ちゃん会の対象児の拡充や地域ケアプラザでの多世代交流の充実などにより、仲間づくりや身近な相談の場づくりなど、子育て支援に一層取り組みます。また、人と人とのつながりを実感でき、互いに支え合える地域づくりのため、自治会町内会活動を支援します。さらに、区制30周年を記念した特設サイトの設置や記念式典の実施、都筑区の魅力や伝統芸能などに触れる機会の創出など、30周年の節目を区民の皆様と祝い、魅力を再発見することで、「住みたいまち」・「住み続けたいまち」の実現につなげます。



赤ちゃん会の様子

施策2 活力とにぎわい、魅力あふれるまち

予算額 17,951 千円(対前年度比 ▲52 千円)

まちの魅力を存分に活かしてにぎわいを創出し、活気あふれるまちづくりを推進するため、都筑区をホームタウンとするビー・コルセアーズ等との連携や、誰もが気軽に参加できる文化・スポーツイベントの実施、SNSを活用した商店街振興、ものづくり企業や都筑野菜の生産者等との連携に取り組みます。また、「都筑・ポツワナ交流児童画展」や「ドイツクリスマスマーケット」をはじめとした国際交流を継続し、多文化理解及びグローバル教育の推進を図ります。



ドイツクリスマスマーケットの様子

施策3 花と緑にあふれ、豊かな環境を育むまち

予算額 5,001 千円(対前年度比 316 千円)

緑地や農地の多い都筑区において、更に花と緑にあふれるまちを目指し、区内の地域資源である公園や緑道などの整備や脱炭素化に資する取組をします。また、公園愛護会などの様々な主体と連携し緑化活動に取り組みとともに、子どもが花を育てるきっかけづくりなど、身近な自然に親しむ機会を広げます。そうした取組を通して、魅力ある豊かな環境について考え、広く発信することで、2027年国際園芸博覧会「GREEN×EXPO 2027」の機運醸成を図ります。



ハマロードサポーターによる花植え

事業名	R6予算額	R5予算額	差引
1 子育て世代をはじめ、あらゆる世代が住み続けたいと思えるまち <14事業>	77,285	77,670	▲ 385
都筑区制30周年記念事業	8,875	0	8,875
妊娠期から学齢期までの切れ目のない子育て支援事業	14,225	13,319	906
つづき健康づくりサポート事業	2,039	2,705	▲ 666
食と暮らしの安全推進事業	656	906	▲ 250
自治会町内会の地域運営応援事業	3,723	9,170	▲ 5,447
地域活動の活性化事業（区民活動センター・読書活動・青少年のボランティア）	4,099	3,885	214
都筑区地域福祉保健計画「つづき あい」推進事業	686	2,033	▲ 1,347
障害者交流啓発事業	1,067	1,077	▲ 10
まちづくり総合調整事業	3,475	6,613	▲ 3,138
危機管理対策推進事業	10,776	8,161	2,615
災害にそなえる自助・共助の推進事業	3,601	5,815	▲ 2,214
安全・安心なまちづくり事業	6,914	9,583	▲ 2,669
広報・広聴事業	1,338	1,722	▲ 384
スムーズ区役所事業	15,811	12,681	3,130
2 活力とにぎわい、魅力あふれるまち <5事業>	17,951	18,003	▲ 52
横浜ビー・コルセアーズを活かしたホームタウン活動推進事業	3,200	3,200	0
文化とスポーツであふれるまちづくり推進事業	1,722	1,644	78
都筑区民まつり支援・地域の賑わいづくり事業	4,540	4,840	▲ 300
在住外国人支援・国際交流事業	4,879	4,679	200
メイドインつづき推進事業	3,610	3,640	▲ 30
3 花と緑にあふれ、豊かな環境を育むまち <2事業>	5,001	4,685	316
環境にやさしいまち推進事業	1,170	984	186
みんなで花と緑のまちづくり事業	3,831	3,701	130
合 計	100,237	100,358	▲ 121

※下線部は、2月開催の第1回区づくり推進横浜市議会議員会議からの変更点です。
 ※事業説明書内に記載されている日程は変更になる可能性があります。

施策1 子育て世代をはじめ、あらゆる世代が住み続けたいと思えるまち

	R6 予算額	R5 予算額	増△減
1 都筑区制 30 周年記念事業 新規	887 万 5 千円	0 円	887 万 5 千円

区制 30 周年を記念した各種取組を実施するほか、その取組を区民の皆様にも広く周知します。また、周年イベント等に関わる関係団体等の支援、区民参加型の環境づくりに取り組みます。



1 都筑区制 30 周年記念式典

区制 30 周年の記念式典を実施し、都筑区のまちづくりに尽力された区民への感謝の機会として式典を開催します。式典は二部制で行い、第一部では区民栄誉賞等の表彰式や感謝状の贈呈式を、第二部では多世代の人が楽しめる催しを行います。(11月9日)

2 都筑区制 30 周年記念“つづきのたからもの”スタンプラリー（仮称）

都筑区ならではの自然あふれる魅力あるスポットを巡ることにより、都筑区にかかわりのある皆様が、都筑の魅力を知る・再発見する機会をつくります。

3 都筑区制 30 周年を契機とした子どもたちが学ぶ伝統芸能ワークショップ

地域に根づく伝統文化の共有と次世代への継承という観点から、和楽器（琴・小鼓・琵琶等）体験と本格的な演奏の鑑賞ができるワークショップを企画し、子どもが伝統芸能に親しむことができる機会を創出します。(9月23日)

4 都筑区制 30 周年記念キッズスタンプラリー

都筑区内の子育て支援関連施設（地域子育て支援拠点 Popola、市立保育所、民間保育所の子育て広場、親と子のつどいの広場、地域の子育てサロン等）を巡るスタンプラリーを実施します。スタンプラリーをきっかけとして区内に多数ある施設を知って、利用していただくことで、地域で安心して子育てができる環境の醸成につなげます。(10～11月)

5 都筑区制 30 周年記念特設サイトの運用及び SNS を活用した投稿キャンペーンの開催

都筑区での日常、都筑区につながること（区内の施設やスポット、区内でのイベント等）について、指定するハッシュタグ「#my つづき」をつけてインスタグラムで投稿していただき、区民参加型で 30 周年を祝うキャンペーンを開催します。(7～12月)
また、「#my つづき」をつけてインスタグラムに投稿された画像については、「みんなの“my つづき”」として、現在開設中の「都筑区制 30 周年記念特設サイト」に掲載します。

my つづき
Instagram
キャンペーン

キャンペーンロゴ

6 都筑区制 30 周年記念給食における記念品の配付（若手職員による庁内プロジェクト）

都筑野菜を使用した区制 30 周年記念給食の実施とあわせて、区内市立小学校の全校児童に若手職員による庁内プロジェクトが考案した記念品を配付し、地産地消の推進及び「都筑愛」の醸成を図ります。（11～12 月）

7 都筑区制 30 周年啓発グッズ等の作成

区制 30 周年の周知及び機運の醸成を図るため、啓発グッズ等を作成します。

2 妊娠期から学齢期までの切れ目のない子育て支援事業 新規・拡充	R6 予算額	R5 予算額	増△減
	1,422 万 5 千円	1,331 万 9 千円	90 万 6 千円

地域、保育・教育施設、学校、関係団体と連携し、子育て支援のネットワークの充実、育児不安を抱える養育者への支援、様々な課題を抱えた子ども達の居場所づくり及び地域の親子の仲間づくりや身近な相談ができる環境の提供など、妊娠期から学齢期までの切れ目のない子育て支援に取り組みます。

1 夫婦で子育て応援事業

就労をしている妊婦やパートナーが参加しやすいように、休日開催の両親教室をポポラ及びポポラサテライトで実施します。

また、区民意識調査の結果からも、多くの方が身近な場所での子育て支援を求めていることが分かっており、妊娠期から地域資源につながるきっかけの一つとして、区内地域ケアプラザにおいても新たに両親教室を開催します。

- ・ ポポラ：毎月第4土曜日、年12回
- ・ ポポラサテライト：毎月第2土曜日、年12回
- ・ 地域ケアプラザ：全6か所で年2回ずつ開催



《休日両親教室の様子》

2 0歳児地域育児教室（赤ちゃん会）

転入者が多い都筑区の子育て世代からのニーズを踏まえ、赤ちゃん会の対象を第1子に加え第2子以降にも拡大して、引き続き仲間づくりや育児相談を行う機会を提供します。



《赤ちゃん会の様子》

- ・ 18 会場 198 回（8月を除く毎月実施）

3 子育てネットワーク事業

地域の子育て支援の充実を図るため、関係機関との情報交換を行うほか、広く子育て支援に関わる方が参加する交流会を行います。



《子育てネットワーク交流会の様子》

・子育てネットワーク会議：第1回5月31日、第2回2月14日

・子育てネットワーク交流会：12月2日

4 育児不安を抱える養育者への支援

育児不安を抱える養育者を対象に、電話や訪問等で継続的な支援を行うとともに必要に応じて心理士が個別の相談に対応します。また、2歳児のイヤイヤ期への対応について学ぶ「2歳児講座」を開催します。さらに、1歳6か月健診において発達状況への課題を指摘され、2歳になるまでの間に不安を抱える養育者が多いことから、発達に不安を抱える2歳前の子と親を対象に、親子で参加し心理士のアドバイスを受けられる遊びの教室「たんぽぽクラブ」を開催します。

・2歳児講座

第1回4月23日（参加13人）

第2回8月7日、第3回10月30日、第4回2月26日

・たんぽぽクラブ

月1回（5月・11月を除く毎月実施）

5 区民による子育て情報冊子の作成（つづきチルコロMAP）

区民から寄せられた外遊びや公園、子育て支援に関する情報等を掲載した冊子（つづきチルコロMAP）をポポラと協働して更新し、発行します。



6 乳幼児健診受診サポート事業

乳幼児健診において新たに保育ボランティアを配置し、妊娠中の方のサポートや同行したきょうだいの見守りなどを行うことにより、保護者の負担軽減につながり、誰もが受診しやすい環境づくりを進めます。

7 身近な拠点における多世代交流推進事業

都筑区は子育て世代の転入が多く、区民意識調査の結果からも、身近な場所での子育て支援が求められています。そこで、子どもを連れて出かけやすい、地域ケアプラザなどで多世代交流を始めとする取組を行うことで、子育て世帯が地域の人と知り合い、地域とのつながりが築ける支援を進めます。

また、子育てサポートシステム提供会員（預かる側）を増やすため、地域ケアプラザ等における入会説明会の実施回数を増やします。

・事業スケジュール

4月～8月 エリア分析、エリア別アプローチ方法の検討

9月～12月 エリア別事業実施

1月～3月 効果検証



《中川地域ケアプラザでの多世代交流の様子》



《子育てサポートシステム
を利用した送迎の様子》

8 おひさま広場（園庭開放）

市立保育所が、子育て中の保護者にとって地域の身近な子育て支援機関となるよう、園庭開放を行います。子育て経験のある保育協力者を配置して見守りがある中で、季節の遊びを取り入れながら子どもを安全に遊ばせるとともに、保護者の育児相談などを行います。

・おひさま広場：週5日（月～金曜日） 市立保育所4園

・おひさままつり：5月17日 みどり保育園 参加38組76人

5月24日 茅ヶ崎南保育園 参加35組77人



《おひさままつりの様子》

9 積木交流（つみきのつづき）

都筑区では、「つみきのつづき」をキャッチフレーズとして、市立保育所に合計2万個の積木を用意して積木遊びに力を入れています。積木遊びを地域の子育て世帯や民間保育・教育施設に広め、積木と親しんでいただけるように、地域の親子向けの育児講座や施設への積木の貸出、公開保育等を行い、子どもたちに豊かな体験を提供します。

・積木であそぼう！～公民合同育児講座～：10月26日 区民ホール



《合同育児講座「積木であそぼう！」の様子》

10 潜在保育士の保育士体験

将来的な保育士確保を目的として、保育士資格を持っていても現在は働いていない方や将来保育士資格を取得して働きたいと考えている方を対象に、市立保育所で保育士体験を行います。

11 地域が支える子ども達の居場所づくり事業

様々な課題を抱えた小中学生を対象に、生活習慣や学習習慣を身に付けられるきっかけとなるよう、地域の協力を得て、居場所づくり事業を実施します。また、送迎の必要がある児童等の支援を行います。(南部方面で実施、原則毎週火曜日)

12 学齢期の子どもや保護者への支援

小学校入学を控え、学校生活やPTA、放課後の預け先などに不安を感じる、いわゆる「小1の壁」に直面する保護者も多くいます。こうした不安の軽減につながるよう、未就学児のいる保護者を対象とした講演会(動画配信を含む)や、子どもが同じ小学校に通う予定の保護者や先輩保護者との情報交換会を各小学校PTAの協力のもと開催し、インターネット等では収集しづらいリアルな情報を提供します。

- ・「小学校入学前に知っておきたい大切なこと～今から備える「小1の壁」～」(講演会及び情報交換会)：9月14日



《情報交換会の様子》

【再配当事業】母親(両親)教室(こども青少年局)

妊娠・出産・育児について正しい知識を身につけるために母親(両親)教室(平日月1コース3回)を実施します。

【再配当事業】児童虐待防止啓発地域連携事業(こども青少年局)

児童虐待の予防、関係機関の対応力向上のため、研修を行います。5年度は、未就学児、学齢児の関係機関に向けたテーマ別研修動画を配信しました。

【再配当事業】放課後児童育成事業(こども青少年局)

すべての子どもたちに豊かな放課後を過ごせる場所と機会を提供するとともに、増加する留守家庭の子ども達の居場所を充実させるため、小学校施設を活用した放課後キッズクラブや放課後児童クラブ(学童)の運営を支援します。

【再配当事業】 寄り添い型生活支援事業（こども青少年局）

養育環境に課題がある世帯の子どもとその保護者を対象に、生活指導による日常生活習慣の改善や、学習支援による学力定着を図るための支援を行います。（北部方面で実施）

【再配当事業】 保育所・幼稚園・認定こども園子育てひろば事業（こども青少年局）

施設の地域開放、子育て相談、育児講座、園児との交流保育等を実施します。

【再配当事業】 身近な地区センターにおける親子が集う場の創出（市民局）

地区センターのプレイルームにおいて、絵本や本棚、知育玩具等の整備や、プレイルームの認知度アップに取り組みます。

3 つづき健康づくりサポート事業 拡充	R6 予算額	R5 予算額	増△減
	203万9千円	270万5千円	△66万6千円

区民の皆様が生涯にわたり健康であり続けられるよう、健康づくりに取り組む区民の活動をサポートします。また、活動に取り組みやすくなるよう環境づくりを進めます。

1 働く世代の健康推進事業

市民意識調査でバランスよく食べている区民の割合が減ってきている結果がでたことから、健康的な生活習慣を身に付けていただくため、働く世代をターゲットに職場等を通じて、健康づくりの支援を進めます。具体的には、横浜健康経営認証の取得支援や、健康づくりネットワーク連絡会*と連携して職場健診受診後のフォローや禁煙相談について情報提供をします。(5月から) また、コンビニエンスストアでのPOP掲示やSNS広告、地域情報サイトへの掲載などを通して情報を発信し、継続的に野菜を摂取する動機づけを行います。(9月)

*健康づくりネットワーク連絡会：都筑区の健康づくりの推進に関する意見交換を行う区内保健・医療・福祉の関係機関・団体及び民間事業者で構成された会議体

2 がん予防啓発事業

区民ががんの早期発見・早期治療ができるよう、乳幼児健診や地域のイベント等でがんに関する知識や健診の必要性に関する啓発を行います。あわせて健康づくりネットワーク連絡会と連携してがん検診の普及啓発をします。



《乳がん自己触診体験の様子》



《乳がん啓発用パネル》

3 こどものお口の健康事業

乳幼児のむし歯予防に関する知識を普及するため、歯みがきの方法やむし歯予防の知識や手法を伝える教室を毎月区役所で実施するとともに、地域会場でも開催します。

また、上手に噛めない、飲みこめない、話せないなどの口腔機能発達不全について早期発見・対応ができるよう、保育園や学校等の関係機関・団体等への情報提供に加え、市ホームページ等を活用して保護者にも啓発を行います。(12月)



《1歳児の歯みがき教室の様子》

4 こどもの食育推進事業

こどもの食生活に関する不安を軽減し、安心して育児ができるよう地区センターや地域ケアプラザなどの地域会場で食事相談を実施します。また、こどもの成長に応じた離乳食が進められるよう離乳食講座を開催します。さらに、こどもの健全な食生活を啓発するため、小中学校・保育園等と連携し、情報交換会や研修を実施します。

5 地域の健康づくり応援事業

高齢者の健康づくりのため、区民向けのフレイル*予防講座を開催します。(12月9日公会堂) また、地域の健康づくり活動の充実を図るため、保健活動推進員と食生活等改善推進員の地区活動の連携を促進します。

*フレイル：高齢期に体力や気力、認知機能など、からだところの機能（はたらき）が低下し、将来介護が必要になる危険性が高くなっている状態



《保健活動推進員と食生活等改善推進の連携した活動の様子》

【再配当事業】がん検診啓発事業（医療局）

がんを早期発見・早期治療できるよう、リーフレット等を活用してがん予防啓発を行います。

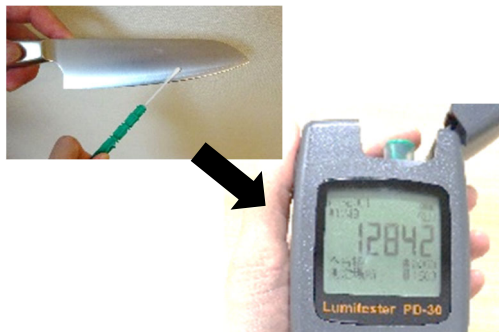
4 食と暮らしの安全推進事業	R6 予算額	R5 予算額	増△減
	65万6千円	90万6千円	△25万円

食の安全、暮らしの衛生、動物の適正飼育など安全で衛生的な暮らしの普及啓発を推進します。

1 食の安全確保事業

(1) 大規模商業施設や大量調理施設への監視指導の実施

都筑区には大規模商業施設内の飲食店や大量調理施設が多く、食中毒が発生した時に被害が大きくなるリスクがあります。定期的な監視にあわせて、調理器具等の洗浄度を数値化できる機器を用いながら助言を行い、自主衛生管理の推進を促します。



《洗浄度を数値化できる機器》



《監視指導の様子》

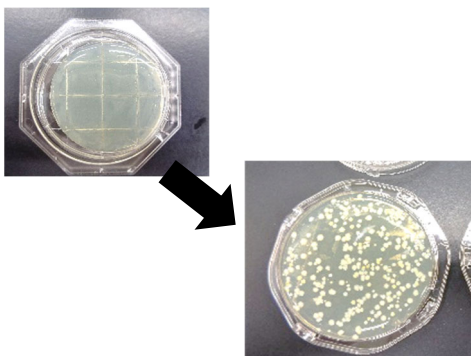
(2) 地域活動の担い手等への検査機器を用いた食品衛生に関する啓発

高齢者の見守りを目的とした配食サービスやこども食堂などのボランティアで食事を提供する団体に対し、衛生教育のためのツール（簡易的な微生物検査ができる培地）を用いて微生物を可視化することにより、わかりやすい啓発を行います。

6月～9月 社会福祉協議会関係ボランティア団体等への周知

10月～12月 講習会実施

通年 出前講座（地区民生委員児童委員協議会等）



《微生物を可視化して衛生教育を行うための簡易培地》



《啓発講習会の様子》

都筑区食品衛生協会と協力して行う食中毒予防キャンペーンや、広報よこはまに記事を掲載するなどの方法により、食中毒予防啓発を行います。

食中毒予防キャンペーン：7月31日 モザイクモール港北（正面入口横、4階広場）



《5年度 食中毒予防キャンペーン》



《6年度 食中毒予防キャンペーンポスター案》

2 暮らしの衛生確保事業

区民生活における猫・ねずみ・ハチの被害に対する支援として、被害防止器具の貸出しなどを実施します。

3 動物適正飼育推進事業

人と動物が共に快適に暮らせる環境づくりを目指し、動物愛護及び適正飼育の推進を図ります。動物愛護週間では長寿ペット表彰、飼い主セミナーを実施します。また、区民まつり等において、ペットの飼育マナー及び適正な飼育などに関する啓発をします。

動物愛護週間：9月20日～26日

- ・区民ホールにて、長寿ペット表彰パネル展示：9月20日～26日
- ・飼い主セミナーの開催：9月25日



《長寿ペット表彰パネル展示》

【局事業】食品衛生監視指導事業・食の安全強化対策事業（医療局）

食品関係施設への立入検査や食品などの検査により食中毒や違反食品の流通を防止するとともに、食品の適正表示を推進して食の安全・安心を確保します。

- ・肉を原因とする食中毒対策 ・社会福祉施設等の食品衛生対策
- ・アニサキスをはじめとする魚介類による危害発生防止対策
- ・検査による違反食品等の排除（残留農薬、アレルゲン、食品添加物等）
- ・食中毒予防キャンペーン
- ・普及啓発、リスクコミュニケーション推進事業 など

【局事業】動物愛護普及啓発事業（医療局）

動物愛護思想や適正飼育の普及啓発を積極的に行うことで、飼い主不明の犬や猫の減少を目指し、人と動物との共生を推進します。

- ・動物の愛護及び正しい飼い方の普及啓発
- ・不妊去勢手術補助事業・地域猫活動支援事業 など



《動物愛護フェスタ 2023(センター南駅前すきっぷ広場)》

5 自治会町内会の地域運営応援事業	R6 予算額	R5 予算額	増△減
	372 万 3 千円	917 万円	△544 万 7 千円

自治会町内会を中心とした地域運営の総合力を高めるため、自治会町内会に対する各種支援を通じ、地域の活性化を図ります。あわせて、都筑区連合町内会自治会（以降、区連会）と連携し、地域のつながりに資する取組や自治会町内会への加入を促します。

1 自治会町内会加入促進

地域のつながりづくりのため、自治会町内会魅力発信動画（5年度に区連会で制作）を活用した情報発信や新築マンションへの働きかけなど、区連会等と連携しながら自治会町内会への加入促進を行います。



<自治会町内会魅力発信動画>

2 自治会町内会への情報提供

区連会定例会資料を、毎月（8月と12月を除く）、各自治会町内会あてに配送し、区連会ホームページに掲載します。

3 自治会町内会長感謝会

自治会町内会長感謝会を開催し、永年にわたり尽力された会長へ感謝状を贈呈するとともに各自治会町内会長へ、感謝の意を表します。

【再配当事業】自治会町内会館整備費補助事業（市民局）

自治会町内会が整備する会館の建設費等の一部を補助します。補助メニューは、新築・増築・耐震補強工事・修繕で、整備費の2分の1を補助します。なお、工事費の高騰を受け、補助上限額を25%引き上げ自治会町内会館の整備に対する負担を軽減します。

【再配当事業】自治会町内会館脱炭素化推進事業（市民局）

脱炭素社会の実現に向け、地域の皆さまとともに温室効果ガスの削減に取り組んでいくため、地域活動の拠点である自治会町内会館へのLED照明やエアコン等の省エネ設備導入費用の3分の2を補助します。（5年度12月補正予算に計上し、6年度に予算を繰り越して実施。）

【再配当事業】地域活動推進費補助金（市民局）

自治会町内会等が実施する防犯、防災、環境美化など公益性の高い活動やレクリエーション活動などの事業費、総会開催費などの事務費に対して補助を行います。

【再配当事業】自治会町内会の新しい運営スタイル推進事業（市民局）

【再配当事業】地域の担い手応援事業（市民局）

自治会町内会の新しい地域運営スタイルを推進するため、5年度に都筑区自主企画事業費で試行実施した事業（都筑スタイル）について、6年度は都筑区と市民局が連携して、全市に共通する自治会町内会の課題解決に取り組むための事業として継続実施します。

4年度転入者を対象にしたアンケート調査結果から、約6割がいざという時の地域や人との繋がりを必要と感じており、自治会町内会には加入にとられない緩やかな関わり方も求められていることが分かりました。そのため、自治会町内会による組織運営の見直しや多様な活動団体との連携などを通じた「新しい運営スタイル」を創出するため、自治会町内会等を対象にしたアドバイザー派遣や集合コンサルティングを行います。

また、都筑区民活動センターと連携した自治会町内会と地域活動者・団体等との交流、「新しい運営スタイル」の普及を図る支援事例の発表や情報発信を行います。

アクションセミナーに先立つ6月1日に、区内のNPO法人を対象として自治会町内会をはじめとした地域とのつながりを考える交流会を新たに開催し、7月開催のアクションセミナーに繋げていきます。

- ・ NPO交流会の開催：6月1日
- ・ アドバイザー派遣及びイベント・事業実施サポートの実施：6月～3月
- ・ セミナーの開催：7月7日
- ・ 集合コンサルティングの実施：10月～12月
- ・ 発表会の開催：3月
- ・ ニュースレター：年2回発行



《6月1日NPO交流会》



《セミナー・交流会（5年度）》



《集合コンサルティング（5年度）》



《7月7日セミナーのチラシ》

6 地域活動の活性化事業（区民活動センター・読書活動・青少年のボランティア） 拡充	R6 予算額	R5 予算額	増△減
	409 万 9 千円	388 万 5 千円	21 万 4 千円

区民の皆様の自主的な地域活動を支援し、区全体で地域活動のすそ野の拡大や更なる活性化を図るため、区民活動センターやつづき MY プラザと連携して、子どもからシニア層まで幅広い世代を対象とした地域活動支援事業を実施します。

1 区民活動センター運営事業

(1) 活動団体情報のデジタル化と広報の強化

区民の自主的な地域活動を支援し、地域活動に関心を持つ人が必要な情報を得やすい環境をつくるため、ボランティア募集やイベントに関する情報をスマートフォン等で簡単に取得できる仕組みを構築します。

(市民局、デジタル統括本部及び青葉区と連携)

また、区内で活動している市民活動の紹介や、区民活動センターに登録しているボランティア人材バンクの情報の充実を図るとともに、都筑区民活動センター公式 LINE や X、Facebook などを活用し、SNS による情報発信の強化を行います。



《都筑区民活動センター公式 LINE》

なお、活動団体が自らイベント、ボランティアの情報発信ができるコミュニティサイト「ウエル・タウン（仮称）（市民局事業）」の実証実験を5月まで実施しました。

（今後効果検証）

(2) 講座・イベント・成果報告会の企画・運営

地域活動のきっかけづくりや地域で活動する団体同士のつながりづくりを目的に、年間を通じて様々な講座やイベント、交流会を実施します。実施にあたり、区民利用施設や市民団体及び地域活動に関心を持つ区民と協働で企画運営に取り組むことで、地域と連携した地域活動の促進を図ります。さらに、市民活動団体やボランティアを自治会町内会につなげるため、情報提供や相談対応など自治会町内会支援の強化を図っていきます。

- ・ 地域活動のきっかけづくりや情報交換の場「交流サロン」（毎月開催）
- ・ 地域活動の担い手づくり講座「大人の部活動」（7月～9月）
- ・ 地域活動を情報発信する市民ライター養成講座（5月～9月通年）
- ・ 地域活動団体のスキルアップ講座「縁（えん）ジンミーティング」（8月、1月）
- ・ 地域活動の活動発表、交流会「つづき人(びと)交流フェスタ」（2月）



《令和5年度つづき人交流フェスタの様子》

(3) 自治会町内会支援の強化

市民活動団体やボランティア人材を自治会町内会につなげるため、情報提供や相談対応など自治会町内会支援の強化を図っていきます。

また、「自治会町内会の新しい運営スタイル推進事業」と連携し、相互の広報媒体による発信力強化や、地域で活動しているボランティアの紹介などを通じて、自治会町内会が多様な活動団体と連携できる場づくりを支援します。



《ボランティア人材を紹介している様子》

2 子どものボランティア体験事業

夏休み期間を利用して、中・高校生がボランティア活動を体験し、日ごろ関わる機会が少ない年代や地域の方々と交流し、体験を通じて学ぶ「はあと de ボランティア～中高生のための夏休みボランティア体験～」及び小学校5・6年生向けの「はあと de ボランティアプレコース」を実施します。

つづき MY プラザや青少年指導員が中心となり、施設や団体と連携して子どもと地域をつなぐことによって、地域で活動する大人にとっても、子どもと関わり新たな気づきの場となることを目指します。

また、同事業の発展形として、中・高校生が1年を通して活動し来夏の体験事業を企画する「STEP UP プログラム」(局予算事業)を支援します。

- ・ オリエンテーション：7月19日～23日、全7回、つづき MY プラザ、区役所等
- ・ ボランティア体験：7月25日～8月23日、区内各所
- ・ 振り返り・修了証授与：8月24日、区役所



《はあと de ボランティアの様子 (左：オリエンテーション、右：竹林整備)》

3 読書活動推進事業

区民の読書活動を推進するために、都筑図書館と連携し、区内の各施設で読書をテーマにした、おはなし会、講演会及び展示会などを実施します。

- ・ おでかけ図書館：図書館と連携して区内施設に出向いて行う読書活動 (通年)
- ・ つづきブックフェスタ：市民団体、図書館と協働で実施する読書イベント (11月)
- ・ 読書懇談会 (3月)



《おでかけ図書館》



《つづきブックフェスタ》

【局事業】 地域支援のデジタル化事業（市民局）

デジタル技術を活用した地域支援の仕組みづくりとして、自治会町内会やNPO法人などの情報の見える化に取り組み、地域活動への参加促進、団体同士の連携強化を図ります。

【再配当事業】 各区市民活動支援センター機能強化事業（市民局）

区民活動センターのコーディネート機能強化の取組として、区民利用施設や区民活動センターのファシリテーション力強化を目的とした講座等を行います。

【再配当・局事業】 青少年の地域活動拠点づくり事業（こども青少年局）

中・高校生世代を中心とした青少年が安心して気軽に集い、仲間や異世代との交流、社会参加プログラム等の体験活動を行う「青少年の地域活動拠点」を実施し、青少年の社会参画に向かう力を育みます。

【再配当事業】 横浜市民の読書活動推進事業（教育委員会事務局）

区の活動目標に基づき、地域全体で読書活動を推進するため市民への普及啓発等の事業に取り組みます。

【局事業】 地域図書館・図書取次業務委託事業（教育委員会事務局）

新たな図書取次所の設置に向けて、「ららぽーと横浜」施設内を候補地として、準備を進めます。

7 都筑区地域福祉保健計画 「つづき あい」推進事業	R6 予算額	R5 予算額	増△減
	68万6千円	203万3千円	△134万7千円

第4期都筑区地域福祉保健計画「つづき あい」（計画期間：令和3年度～7年度）に基づき、福祉保健の取組への住民参加を促進し、地域活動団体や社会福祉施設等と行政が協働して、地域づくり、支えあいの仕組みづくりを進めます。

1 地区別計画推進会議等への支援

(1) 第4期計画推進に向けて、地域住民による課題共有・解決の体制を促進するため、地区別計画推進会議等の取組を支援します。



《地区別計画推進会議・地域懇談会》



《地域の子ども向けクリスマス会》

(2) 地域での取組に対して、「つづき あい基金」を通じて支援を行います。

2 地域福祉保健推進に携わる職員を対象とした研修

庁内及び関係機関の連携強化を図りつつ地域支援を行えるよう、地域支援に関わる区や関係機関の職員を対象とした研修を実施します。

3 都筑区地域福祉保健計画推進委員会等の運営

計画の進捗状況や課題等について報告、意見交換し、今後の計画推進や次期計画検討の参考とするため、学識経験者や各種団体の代表者等からなる都筑区地域福祉保健計画推進委員会を開催します。(12月)

4 地域福祉保健の啓発・発信

多くの区民が集まるイベントや地域のサロン等への参加や、広報よこはまやSNSを活用した発信などを通じて、若年層や子育て世代を含めた幅広い層に地域福祉保健の啓発を行います。

また、テーマ型の活動を含めた地域の様々な活動の状況を把握し、地域福祉保健の課題を共有しながら、解決に向けた取組を進めます。



(茅ヶ崎南 MGCRS 地区)



(都田地区)

《地域活動の取組例：移動販売の様子》

【再配当事業】 地域福祉保健計画推進事業（健康福祉局）

誰もが安心して自分らしく健やかに暮らせる地域づくりを目指し、住民、事業者、行政、社会福祉協議会、地域ケアプラザ等が福祉保健などの地域の課題解決に協働して取り組み、身近な地域の支え合いの仕組みづくりを進めることを目的として、地域福祉保健計画を推進します。

8 障害者交流啓発事業 新規	R6 予算額	R5 予算額	増△減
		106万7千円	107万7千円

障害があっても住み慣れた地域で生活していけるよう、障害者と地域住民との交流や障害者の社会参加を支援する各種事業を実施します。

1 福祉農園事業

障害児・者の方が参加する芋の収穫体験を実施します。(10月)

また、12月の障害者週間にあわせて、区民ホールで障害当事者や障害者福祉事業所等の関係機関と協働により、「障害者と地域の共生フェスタ」を実施し、障害者施設の事業所紹介のパネル展などを行います。(12月3日～7日)



《芋の収穫体験の様子》



《障害者と地域の共生フェスタの様子》

2 障害者地域啓発事業

(1) 区民まつり福祉バザー (11月3日)

地域住民が参加する区民まつりにおいて、障害者団体が出店し、障害者と地域住民の交流の機会とします。

(2) 障害者グループホームの地域防災拠点防災訓練への参加支援 (9月～2月)

障害者が地域防災拠点の防災訓練に参加し、地域住民とお互いに顔の見える関係を築くとともに、障害者自身が拠点の役割や機能を理解していただく機会とします。



《区民まつり 障害者団体自主製品販売》



《都筑区自立支援協議会ホームページでの参加推奨》

3 障害者施設支援事業

障害者の社会参加につなげるため、区民ホール、駅構内等において障害者施設の自主製品の販売活動を支援します。また、農福連携*の取組を行う区内障害福祉事業所に対して農作業に必要となる物品購入費（軍手や長靴等）の補助を行います。



《駅構内での自主製品販売の様子》



《農福連携の取組の様子》

*農福連携：障害者等が農業分野で活躍することを通じ、自信や生きがいを持って社会参画を実現していく取組です。農福連携に取り組むことで、障害者等の就労や生きがいづくりの場を生み出すだけでなく、担い手不足や高齢化が進む農業分野において、新たな働き手の確保につながる可能性もあります。（出典：農林水産省ホームページより）

9 まちづくり総合調整事業	R6 予算額	R5 予算額	増△減
	347万5千円	661万3千円	△313万8千円

まちづくりに関する区民の皆様の声を聴き、区内企業・教育機関等との連携、地域の実情に応じたきめ細やかなまちづくりの普及・啓発、区民主体のまちづくりの支援等により、地域の課題解決等を図るための検討や取組を進めます。

また、まちの魅力を活かしたにぎわいの創出などのまちづくりに取り組みます。

1 まちづくり・企画調整

(1) まちづくり調整

区内における建築協定の更新（港北ニュータウンつづき野（荏田東一丁目内）：6月）やまちづくり活動団体への支援などに取り組みます。また、都市計画マスタープラン都筑区プランの改定に向けて、現行プランの検証等を行います。

あゆみが丘市有地の利活用や横浜国際プール再整備、地域交通のあり方などについても地域や事業を所管する局等と連携しながら進めていきます。

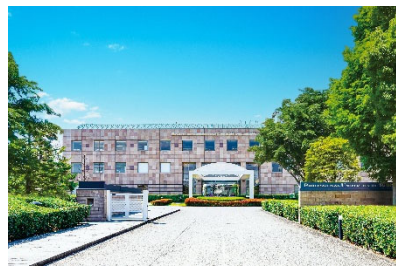
(2) 区内大学との連携

東京都市大学については、地域課題に関する意見交換会（地域連携協力会議）等を行います。

令和5年4月に開校したビューティー&ウェルネス専門職大学については、今後の連携に向けた検討を引き続き行います。



《東京都市大学地域連携協力会議の様子》



《ビューティー&ウェルネス専門職大学》

(3) 区内企業との連携

区内企業による公立小・中学校出前講座（つづき博士倶楽部*）を行います。

*つづき博士倶楽部：都筑区に立地する企業・事業所がその専門分野を生かした講座を都筑区内の公立小中学校へ出向いて講義するもの

2 区民文化センター関連事業

7年3月開館予定の都筑区民文化センターの整備とともに、隣接する鉄道高架下用地の利活用を所管局等と連携しながら進めます。

また、区民文化センターニュースの発行（秋頃）により、整備の進捗状況をお知らせするとともに、開館に向けた広報を通して機運の醸成を図ります。



《区民文化センター 外観イメージ》



《ホール イメージ》



《ギャラリー・エントランス イメージ》



《リハーサル室 イメージ》

【再配当事業】 都筑区民文化センター整備事業（にぎわいスポーツ文化局）

市地域に根差した個性ある文化の創造に寄与するための、文化芸術活動の拠点となる区民文化センターの開館に向けた広報や官民及び地域が一体となって行うオープニングイベント等を行っていきます。

10 危機管理対策事業	R6 予算額	R5 予算額	増△減
	1,077 万 6 千円	816 万 1 千円	261 万 5 千円

大雨や台風による河川の氾濫を想定した情報受伝達、地震により負傷者が多数発生したことを想定した災害医療対策訓練などの各種訓練を通じて、関係機関・団体との連携を図ります。

また、区災害対策本部の運営に必要となる資器材の維持管理や、災害時に迅速かつ的確な情報収集・発信をするための運用を整備します。

1 関係機関と連携した災害対応力の向上

(1) 「災害対策連絡協議会」や「帰宅困難者対策部会」を開催し、警察署等の関係機関・団体と情報共有や意見交換を行います。

・災害対策連絡協議会（5月10日）

(2) 「災害医療連絡会議」を開催し、区医師会等の関係機関・団体と災害医療に関する情報共有や意見交換を行います。

(3) 区医師会等と実施する災害医療対策訓練及び交通事業者や帰宅困難者一時滞在施設等と実施する帰宅困難者対策訓練等を通じて、関係機関・団体との連携強化を図ります。

・「診療中」の黄旗掲出訓練（9月、1月、3月）

・仮設救護所運営訓練（1月～2月予定）

(4) 区災害対策本部の運営のため、通信機能の確保や資器材の補充を行います。また、区災害対策本部訓練を実施することで、区職員の災害対応能力の向上を図ります。



《帰宅困難者対策訓練(センター北駅)》



《黄旗掲出訓練》

2 災害時における情報発信

(1) 災害発生時や災害発生が見込まれる際、区独自に設置の防災用スピーカーを活用し、河川沿いの住民に情報発信する他、緊急時情報伝達システムを活用し、区内の自治会・町内会長等へ避難情報等を一斉に電話で受伝達するシステムを引き続き運用します。

・緊急時情報伝達システム（6月7日）

(2) 勝田会館に設置した防災用スピーカーについては、支柱の老朽化に伴い撤去し、勝田訓練場に1基整備します。(～12月予定)



《防災用スピーカー活用の情報伝達》



《防災用スピーカー》

11 災害にそなえる自助・共助の推進事業	R6 予算額	R5 予算額	増△減
	360万1千円	581万5千円	△221万4千円

広報よこはまや防災・生活マップ等を活用した啓発活動に加えて、地域防災拠点運営委員向けの研修会、防災・減災講演会の開催、及び災害時要援護者支援事業(つづき そなえ)による地域の取組支援等を実施することで、自助・共助の取組を推進し、地域防災力の向上を図ります。

1 地域防災拠点の運営支援

地域防災拠点運営委員を対象として、地域防災拠点の開設・運営などに関する研修会(3回)を開催するとともに、地域防災拠点における訓練を支援します。また、女性の視点から避難所生活におけるプライバシーの確保を図るため、着替えや授乳用の簡易テント等を配置します。



《運営委員研修会の様子》



《簡易テントの一例》

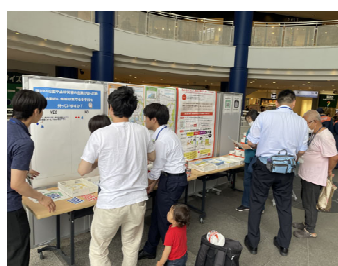
2 自治会町内会等向け出前講座、防災・減災講演会の開催

自治会町内会・小中学校等を対象とした出前講座や区民向け防災・減災講演会を開催し、大規模地震や風水害への備えなどの知識の向上や防災・減災に関する意識啓発を図ります。

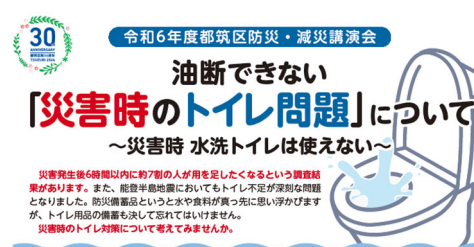
今年度の防災・減災講演会では、能登半島地震でも課題となった災害時のトイレ問題について、7月3日に特定非営利活動法人日本トイレ研究所代表理事の加藤篤氏より都筑公会堂にて御講演いただきます。



《出前講座》



《東急 SC 防災イベント》



《都筑区防災・減災講演会チラシ》

3 防災マップの多言語化

災害に対する避難行動や事前の備えについて、外国人の方々の知識・理解の促進を図るため、都筑区防災マップの多言語化を進めます。令和5年度に引き続き、ベトナム語とやさしい日本語への翻訳を行います。

4 災害時要援護者支援事業（つづき そなえ事業）

災害時要援護者支援に関する地域の取組が進むよう、希望する地域に行政が保有する災害時要援護者名簿の提供を行うほか、補助金の交付、取組の必要性の啓発や事例の紹介など、各地域の実情に合わせた支援を行います。

なお、在宅サービスを利用している高齢者等の安否情報が、災害時に関係者間で速やかに共有できるよう、医師会や介護関係者とともに検討を進めています。



《地域での登録ボランティア顔合わせ会》



《地域での安否確認訓練の様子》



※写真は葛が谷地域ケアプラザ広報誌から抜粋

5 災害時の健康維持啓発事業

健康づくりの観点から災害の備えを促すため作成した「食の備蓄」「口腔ケア」「衛生対策」に関する冊子「災害時にも役立つBOOK」の活用を地域防災関係者に促すとともに、保健活動推進員や食生活等改善推進員等と連携して啓発を行います。



《「災害時にも役立つBOOK」を活用した啓発活動》

6 災害時のペット対策事業

災害時のペット避難について、飼い主一人ひとりが適した方法を自ら考えられるよう、日頃からの備えに関する動画を配信するとともに、ペット用災害時持ち出しグッズ等の展示を行うなど、あらゆる機会をとらえて啓発を進めます。

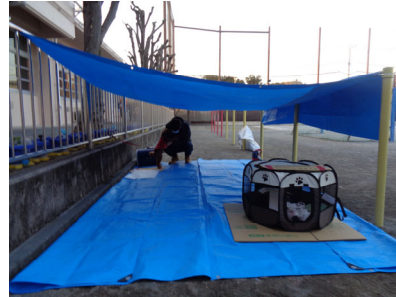
また、地域防災拠点においてペット同行避難の受入れ体制が進むよう、ペット避難所開設キット（受付物品等）を活用した各拠点の取組を支援します。

・「我が家のペット防災展」：9月20日～26日

・日頃からの備えに関する動画の配信：7月



《ペット避難所開設キット》



《地域防災拠点避難訓練でのペット一時飼育場所(避難所)設営の一例》



《ペット避難所開設キットの内容
(手順書、様式、文具、シート他)》



《日頃からの備えに関する動画》

【局事業】 地域防災拠点の充実・強化（総務局）

震災直後における物資確保等、市民の安全確保にかかわる食料水等を確保するとともに、授乳しやすいよう全ての地域防災拠点（459か所）に新たに液体ミルクの備蓄を開始します。備蓄の開始は令和6年8月から9月の備蓄品更新時期であり、各拠点に24本を配備する予定です。

【局事業】 地域の防災担い手育成事業（総務局）

町の防災組織のメンバーや地域防災拠点運営委員を対象に、防災・減災推進研修等を実施し、地域の防災活動の担い手となる人材を育成します。

さらに、市内唯一の体験型施設である横浜市民防災センターと連携し、広く市民を対象にしたテーマで防災・減災の知識を深める「防センアカデミー」を実施します。

【再配当事業】 地域の防災担い手育成事業（総務局）

地域の実状に合わせた研修プログラムや講演会の実施、啓発事業等により、地域防災の担い手の育成や、町の防災組織を中心とした自助・共助の取組の推進を図ることで、「災害に強い人・地域」づくりを支援します。

【再配当事業】 災害時要援護者支援事業（健康福祉局）

発災時、自力で避難することが難しい高齢者や障害者等の避難を地域が支援できるよう、日頃から顔の見える関係作り等を進めていただくため、災害時要援護者名簿の作成や、支援方法等に関する周知・啓発を行います。

12 安全・安心なまちづくり事業	R6 予算額	R5 予算額	増△減
	691 万 4 千円	958 万 3 千円	△266 万 9 千円

安全で「安心」を実感できる「ふるさと都筑」を実現するため、交通安全、スクールゾーン協議会支援、放置自転車対策、防犯パトロール支援を行います。

1 交通安全運動

都筑区交通安全対策協議会を中心に、都筑警察署等関係機関・団体と連携しながら交通安全運動の街頭キャンペーンや交通安全教室を実施します。さらに、日々の交通安全運動に貢献された皆様を顕彰します。

また、子どもたちの安全・安心のため、学校や警察と連携し、スクールゾーン標示の整備や交通安全啓発等を実施し、各小学校のスクールゾーン・防犯対策協議会の支援を行います。

・交通安全運動：

年間11回実施予定。新たに緑道での自転車マナーアップ啓発活動実施（5月22日）

・はまっ子交通あんぜん教室：9校（5月～11月）

・スクールゾーン・防犯対策協議会の開催

24校（区内22校+区外2校）で6月～11月に順次開催予定

・広報よこはま（7月号区版）にて自転車マナーアップ啓発にかかる特集記事を掲載



《はまっ子交通あんぜん教室》



《スクールゾーン路面標示》



《緑道での自転車マナーアップ啓発活動》

2 放置自転車対策事業

駅周辺で啓発チラシ等を配布し、放置自転車防止等呼びかける放置自転車クリーンキャンペーンを行います（10月実施）。



《放置自転車クリーンキャンペーン》

3 地域防犯活動推進事業

地域防犯活動を行う自治会町内会及び地域の自主防犯のための青色回転灯パトロール隊に対し助成金を交付するとともに、都筑警察署や都筑防犯協会と連携し、防犯活動のための研修会（10月実施）を行うなど、活動を支援します。

また、都筑防犯情報メーリングリストの発信（原則週1回、登録者数約2,500名）を行います。



《青パト出陣式の様子》



《各地域の青色回転灯パトロール車》



《防犯ML登録サイト》

【再配当事業】地域防犯活動支援事業（市民局）

防犯に関する物品などを自治会町内会等に配付することにより、地域での防犯活動を支援します。

【局事業への変更】放置自転車等移動、保管・返還業務（道路局）

区内各駅の自転車等放置禁止区域において適切な自転車利用を行うよう監視指導を行う監視員を配置します（各区での委託契約から道路局一括契約に変更）。

13 広報・広聴事業	R6 予算額	R5 予算額	増△減
	133万8千円	172万2千円	△38万4千円

広報よこはまや区ホームページ、SNS を活用し、区政情報や区の魅力・見どころなどを広く発信することで、区民生活の利便性向上やにぎわいの創出につなげます。

また、広聴事業により、多様化する区民ニーズや地域の課題を把握し、円滑な区政運営を図ります。

1 情報発信事業

(1) インターネットを活用した広報

区ホームページや SNS (X、LINE) を活用し、区政情報や各種イベント情報の発信、広報よこはま都筑区版のオープンデータの提供などを行います。

(2) PR ボックスを活用した広報

毎月 1 日、都筑区内全駅にある PR ボックスの見開き掲示板* に広報紙の最新号を掲示するほか、毎月 15 日に広報印刷物の補充を行い、イベントやお知らせ等を周知します。

特に利用者の多いセンター南駅・センター北駅の PR ボックスは、毎月 22 日に追加補充を行います。

* 広報よこはま市版と区版の表紙を並べて貼りだします

《センター南駅設置の PR ボックス》



(3) 主要事業の広報

広報よこはま都筑区版 5月号 で区の主要事業の広報を行いました。

(4) 都筑の魅力発信

SNS や区ウェブページ、デジタルサイネージを活用して写真や動画で都筑区の魅力を広く発信します。

都筑区季節の魅力 PR 動画「めぐる季節に出会える都筑」を 4 月 16 日に YouTube 等で公表しました。



《南山田の虫送り (PR 動画より)》



《庁舎内サイネージでの PR 動画放映》

【動画の PR 媒体】

YouTube、PRTIMES、区ウェブページ、区庁舎内サイネージ、都筑区子育て支援センター Popola

2 広聴事業

各種広聴制度を活用し、区民の方や区内で活動する団体等の方から様々な意見を伺うことで、地域における課題やニーズの把握に努めます。

14 スムーズ区役所事業	R6 予算額	R5 予算額	増△減
	1,581 万 1 千円	1,268 万 1 千円	313 万円

庁舎内のデジタル環境整備や、来庁者へのサービスを向上することにより、業務の効率化と区民の皆様が利用しやすいスムーズな区役所を実現します。

1 デジタル環境推進事業

横浜 DX 戦略を踏まえ、区民サービス向上や業務効率化につながる、デジタル環境を整備します。3～5階エリアについて、インターネット接続用無線 LAN 環境（公衆無線 Wi-Fi）を整備し（7月 ※1・2・6階エリアは整備済み）、ペーパーレス環境の整備のため、会議室及び執務室の ICT 環境の整備を図ります（2月）。また、会計年度任用職員の勤怠管理システムの実証実験、戸籍課での申請書自動入力の実証実験に引き続き取り組みます。



《会議室での WEB 会議の様子》

《執務室内ミーティングテーブルのモニター》

2 区庁舎環境改善

区民の皆様が快適に利用できるよう、区庁舎の環境改善や整備を行います。

3 税理士による確定申告受付事業

確定申告の期間中（2月17日～3月17日）のうち10日間、区民の皆様身近な区役所において、専門知識を持つ税理士の協力を得て確定申告（医療費控除の還付申告）に係る申告書の作成支援・受付を行います。

4 来庁者サービスアップ事業

来庁者が利用しやすい窓口になるよう、こども家庭支援課に窓口案内員を配置します。

（配置時間：8時45分～17時）

また、お子さま連れの来庁者が待ち時間にお子様と過ごせる場所を提供します。



5 人権啓発講演会

人権意識の向上を目的として、区民の皆様及び職員を対象とした人権啓発講演会を都筑公会堂で実施します（12月）。また、録画したものを編集しオンライン配信します（1月）。



《5年度人権啓発講演会の様子》

【再配当事業】横浜DX戦略（デジタル統括本部）

横浜DX戦略に掲げる「書かない・待たない・行かない・そしてつながる」をコンセプトとした「デジタル区役所」の実現に向けて、西区と港南区を中心に様々な実証実験が行われてきました。都筑区では、事務効率化のため、会計年度任用職員の出退勤管理システムの実証実験を行っています。

《会計年度出退勤管理の様子》



【再配当事業】区庁舎等改善事業（市民局）

都筑土木事務所における女性用シャワー室等の整備に向けた実施設計を行います。

施策2 活力とにぎわい、魅力あふれるまち

15 横浜ビー・コルセアーズを活かした ホームタウン活動推進事業 新規	R6 予算額	R5 予算額	増△減
	320 万円	320 万円	0 円

平成29年3月に横浜ビー・コルセアーズ、都筑区連合町内会自治会、区役所の三者で締結した「ホームタウン活動の協力に関する基本協定」に基づき、区をあげたチームの応援にこれまで注力してきました。また、チームとしても地域向けバスケットボール教室の開催や障害者施設での交流会などに加え、地域の催事・イベントへの参加やパブリックビューイングの開催、B-ROSE（チアリーダーズチーム）のユースメンバーの育成など、地域貢献活動に取り組んでいます。今後もチームとの連携を更に深め、誰もがスポーツに親しむ機会の創出や街の賑わいづくりを図ります。

1 ダイバーシティスポーツイベント

障害の有無や日本語の理解にかかわらず誰もが楽しめるスポーツイベントを開催します。障害児支援や在住外国人支援で実績のある NPO 法人及びスポーツ推進委員、青少年指導員等で構成する実行委員会による運営体制のもと、地域活動団体や地元企業、横浜ビー・コルセアーズ等プロスポーツチームと連携しながら、誰もがスポーツを楽しめる機会を創出することで、スポーツを通じたダイバーシティ&インクルージョンを推進します。



《5年度ダイバーシティスポーツイベントの様子》

2 都筑区グラウンドゴルフ大会

横浜ビー・コルセアーズ協賛のもと、グラウンドゴルフ大会を開催し、シニア層へのチームの認知度向上及びプロスポーツチームとの協働による地域の一体感醸成を図ります。
(令和6年6月2日実施予定でしたが、雨天のため中止となりました。)



《参考：5年度の大会の様子》

3 ホームタウン広報

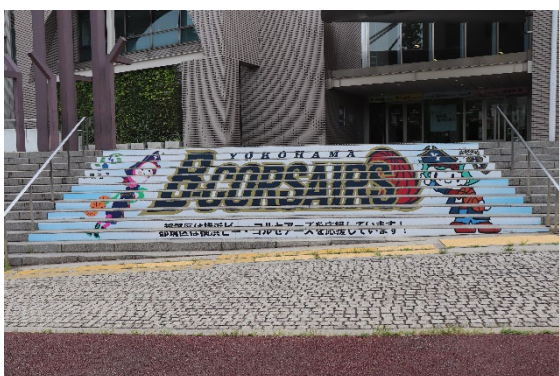
「都筑区応援 Day」の実施や、区庁舎を始めセンター北駅・センター南駅付近や北山田駅、区民利用施設での積極的な広報など、地域に根差したチーム作りの支援を行うことで街の一体感の創出と地域の活性化を図ります。都筑区全体で横浜ビー・コルセアーズのホームタウン活動を推進する機運を醸成し、街の一体感の創出と地域の活性化を図ります。



《応援 Dayの様子》



《区庁舎装飾》



《階段装飾》



《エレベーター装飾》



《パブリックビューイングの様子（5年度）》



《広報よこはま 6年1月号》

16 文化とスポーツであふれるまちづくり 推進事業	R6 予算額	R5 予算額	増△減
	172 万 2 千円	164 万 4 千円	7 万 8 千円

都筑区を拠点とした文化、スポーツの活動を支援することで、広く区民が文化・スポーツに親しむ機会を提供します。

1 つづきユースフェスティバル

地域で活動する青少年が主役となり吹奏楽やダンス等の文化活動を区民に向けて披露する第2回「つづきユースフェスティバル」を開催することで、文化活動発表の場の提供による青少年の自己表現機会の創出を図ります。(令和4年度まで実施してきた「つづきウォーク&フェスタ」の内容を見直し、5年度よりフェスタに特化した新しいイベントとして開催)

実施日：11月23日、都筑公会堂



《区内中学校吹奏楽部の演奏と県立高校ダンス部のパフォーマンス》

2 都筑区民文化祭事業

区民及び区内活動団体が自主的に運営する「都筑区民文化祭」の開催を支援し、区民が広く文化に親しむ機会を創出します。

第29回都筑区民文化祭：1月18日～2月2日

・オープニングセレモニー：1月18日、都筑区民ホール

・展示部門：1月18日～2月2日、都筑区民ホール

※「舞台部門」は公会堂が工事休館のため中止。

(工事期間は 7年1月7日～12月28日を予定)



《オープニングセレモニーと花・写真の展示》

3 都筑スポーツ・文化賞事業

スポーツ・文化の分野においてめざましい活躍、顕著な功績のあった都筑区にゆかりのある方々を表彰し、さらなる活躍を期待するとともに、スポーツ・文化活動への関心を高めます。



《表彰式の様子（5年度）》

4 スポーツ協会活動補助事業

各種スポーツ大会や講習会を開催する都筑区スポーツ協会に対し補助を行い、スポーツ、レクリエーション活動を振興し、区民の健康増進と相互の親睦を図ります。

17 都筑区民まつり支援・地域の賑わいづくり事業	R6 予算額	R5 予算額	増△減
	454 万円	484 万円	△30 万円

笑顔にあふれ活気ある都筑区民まつりの開催を支援することで、地域の賑わいづくりとふるさと意識の向上を図ります。また、地域コミュニティの重要な担い手である商店街（区商連加盟店舗等）への集客支援を行い、地域の活性化及び街全体の賑わい創出を図ります。

1 都筑区民まつり支援事業

区民の皆様へ地域に対する愛着やふるさと意識を醸成していただけるよう、都筑区ふるさとづくり委員会とともに、「第 30 回都筑区民まつり」を開催します。令和 6 年度は区制 30 周年記念事業の一環として、開会式において区民の皆様と 30 周年をお祝いする予定です。

(内容については都筑区ふるさとづくり委員会と調整中)



《第 29 回都筑区民まつり》

2 商店街の魅力発信事業

都筑区商店街連合会とともに、商店街の魅力を効果的に発信する方法について検討しながら事業を進めます。特に5 年度に立ち上げたインスタグラムを活用した集客向上につながる仕組みについて、SNS やチラシ、広報よこはまの活用、プロスポーツチームと連携した取組等により広く PR することで、商店街を核とした賑わいづくりへの支援を行います。



《商店街魅力発信事業「Let's Go 商店街」》

《4 商店街を巡るバスツアー》

18 在住外国人支援・国際交流事業 拡充	R6 予算額	R5 予算額	増△減
	487 万 9 千円	467 万 9 千円	20 万円

国籍や文化的背景などにかかわらず、誰もが安全・安心に暮らすことができるまちづくりを推進するため、「都筑多文化・青少年交流プラザ（つづき MY プラザ）」と連携して、在住外国人に寄り添った日本語学習・生活支援や、国際交流を通じた多文化理解の促進を図ります。外国につながる子どもたちが地域に愛着を持ち、活躍できるよう支援します。

1 在住外国人支援事業・国際交流事業

多言語による情報提供及び相談対応を実施するとともに、増加する在住外国人を支えるため、ボランティアを育成します。言語の壁が原因で学習に課題を抱える子どもたちに対し、学校と連携した学習支援及び相談の居場所を提供します。子育て支援センターや NPO と連携し、子育て世帯への切れ目のない支援を実施します。

令和 7 年の第 9 回アフリカ開発会議の横浜開催が決定し、国際交流による次世代育成の期待が高まっています。5 年度に「都筑・ボツワナ交流児童画展」10 周年を記念し実施した都筑・ボツワナ交流アニバーサリー事業を機に、ボツワナ共和国との交流実績を今後発展的に継続・拡充し、より幅広い年代の子どもたちを対象に多文化理解及びグローバル教育の推進を図ります。

- ・外国につながる子どものための教育相談、日本語教室、学習補修教室（通年）
- ・日本語ボランティア連絡会の実施（月 1 回）、養成講座の実施
- ・茅ヶ崎小学校 3 年生児童に向けたボツワナ国際理解教室（6 月 28 日）
- ・都筑・ボツワナ交流児童画展（2 月：区民ホール、3 月：JICA 横浜）
- ・DE&I[※] FESTIVAL の開催（10 月 6 日）

※ DE&I（ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン）とは、Diversity（多様性）、Equity（公平性）、Inclusion（包括性）の 3 つを合わせた言葉です。国籍や障害の有無にかかわらず、多様な人が、公平な機会のもと、違いに尊重しあい、力を発揮できる環境を実現するという概念です。



《学習支援の様子》



《ボツワナ共和国ベン・テマ小学校とのオンライン交流の様子》



《DE&I フェスティバルの様子》

2 都筑・ドイツ交流イベント事業

在住ドイツ人の多い都筑区で日独の相互理解・交流の促進を目的に、地元商業振興会や自治会町内会、東京横浜独逸学園、ドイツ企業等と連携し、センター北駅前の芝生広場を会場に「ドイツクリスマスマーケット in 都筑 2024」を開催します。(12月7日、8日)



《ドイツクリスマスマーケット in 都筑 2023》

【再配当事業】外国人材受入・共生推進事業（国際局）

地域の外国人支援及び国際交流の拠点として、多言語での情報提供や相談対応、日本語教室、日本人と外国人の交流事業などを実施する国際交流ラウンジを運営します。

19 メイドインつづき推進事業	R6 予算額	R5 予算額	増△減
	361 万円	364 万円	△3 万円

都筑区の製造業の持つ高度なものづくり技術や独創的な製品、区内でとれた新鮮な都筑野菜などの「メイドインつづき」をPRすることにより、販路開拓や地産地消につながる支援を実施します。

1 メイドインつづきPRイベント

区制30周年を記念して、「環境にやさしいまち推進事業」と連携し、「メイドインつづき（中小製造業支援、地産地消の推進）」のPR及びSDGsの啓発を目的とした親子向けのイベントを新たに開催します。（11月16日）

2 中小製造業支援

（1）販路開拓・企業間連携支援

県下最大級の工業技術見本市「テクニカルショウヨコハマ2025」（2月5日～7日）に「メイドインつづき」ブースを出展し、参加企業の技術・製品をPRするとともに、企業連携により製作したユニークな製品の数々を展示します。



《テクニカルショウ2024の様子》

また、販路開拓や人材確保等の観点から、参加企業の販促・広報用ツールを作成し、展示会や各種催事で活用します。

（2）小学生向け廃材配付イベント

参加企業の工場から出た廃材を集め、区役所1階区民ホールにて小学生向けに配付します。（8月上旬）



《5年度の廃材配付の様子》

3 地産地消の推進

市内有数の農地面積、農家戸数を誇る都筑区ならではの特徴を生かし、「新鮮な野菜が手に入りやすいまち」を目指すことにより、区民一人ひとりのウェルビーイングにつなげます。

令和6年度は、野菜の朝市（概ね月4回）や大型商業施設と連携した規格外野菜の販売など、SDGsに寄与するマルシェイベントの開催などに引き続き取り組みます。



《都筑野菜朝市の様子》

【再配当事業】ものづくり魅力発信事業（経済局）

中小製造業の販路開拓とものづくりの魅力発信を推進するため、テクニカルショウヨコハマにおけるメイドインつづきのPRや区の垣根を越えた企業間連携などを支援します。

【再配当事業】身近に農を感じる地産地消の推進事業（みどり環境局）

農産物直売所の整備等を支援するとともに、市内で生産される苗木や花苗の配布、地産地消に関わる情報の発信など、地産地消を身近に感じる取組を推進します。

施策3 花と緑にあふれ、豊かな環境を育むまち

	R6 予算額	R5 予算額	増△減
20 環境にやさしいまち推進事業	117 万円	98 万 4 千円	18 万 6 千円

地球温暖化を始めとする環境問題への対策について区民への PR を進めるとともに、地球環境に優しい生活の普及啓発を推進します。

また、きれいな街づくりのため、地域清掃活動の支援、不法投棄防止対応、3R の普及啓発、「ヨコハマ プラ5.3計画」の推進などの取組を積極的に進めます。

1 エコ活の推進

メイドインつづき推進事業と連携して、SDGs をテーマとした親子向け体験型イベントを実施し、環境に優しい生活を啓発します。(11月16日)

また、区庁舎に設置されている、窓際でつる性の植物をカーテンのように育て日光を遮る緑のカーテンの維持管理を行うとともに、区内公立小中学校(14校)を対象に緑のカーテンの設置支援を行います。



《区庁舎入口緑のカーテン》

2 クリーン推進事業

きれいな街を推進するため、自治会町内会等が実施する地域清掃の支援、駅周辺のポイ捨て防止啓発、農業専用地区等の不法投棄防止対策の支援を行います。

- ・清掃ごみ袋配付による地域清掃の支援：50 団体配布（通年）
- ・センター南駅前ポイ捨て防止啓発：（11 月）
- ・農業専用地区一斉清掃：池辺、折本、新羽大熊、佐江戸宮原（6 月～2 月）
- ・東京都市大学の学生との協働による中川駅周辺の清掃活動（11 月）



《東京都市大学の学生との清掃活動》



《農業専用地区等の不法投棄防止対策支援》

3 3R 推進事業

3R 行動推進のため、つづき 3R 週間をはじめとする各種イベントや赤ちゃん会など様々な機会を活用した区民等への啓発、「都筑区の子どもの読書活動支援」を目的とした市民団体との協働により、区民の皆様から読まなくなった本を回収し、区内の小学校・地区センター・コミュニティハウスへ配付します。

また、フードドライブの推進など食品ロス削減につながる取組を資源循環局等と連携し進めていきます。

さらに、プラスチックごみの分別・リサイクル拡大による市民の皆様一人ひとりの行動変容をきっかけに、環境意識の更なる向上と脱炭素行動の実践、「GREEN×EXPO 2027」開催に向けた機運醸成を図っていきます。

- ・つづき 3R 週間パネル展・イベント：6月20日～6月26日、2月7日～2月12日
- ・赤ちゃん会での啓発（食品ロスの削減、ごみの出し方分け方）：9月～3月（18会場）
- ・リユース図書の配付：11月（区内小学校等）
- ・フードドライブ活動：回収した食品を区社協を通して食の支援を必要としている方や、子ども食堂へ提供（通年）



《つづき 3R 週間パネル展・イベントの様子》 《フードドライブお渡し会（区社協）の様子》

【再配当事業】身近な公共施設・公有地での緑の創出・育成事業、保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成事業（みどり環境局）

横浜みどりアップ計画の一環として公共施設・公有地等において、敷地内の緑化及び緑地の維持管理を支援します。都筑区では、区制 30 周年記念及び GREEN×EXPO 2027 の機運醸成として区庁舎駐輪場上の花壇の再整備等を行います。



《区庁舎駐輪場上の花壇（現状）》

21 みんなで花と緑のまちづくり事業 拡充	R6 予算額	R5 予算額	増△減
	383 万 1 千円	370 万 1 千円	13 万円

緑地や農地の多い都筑区において、より一層、花と緑にあふれるまちを目指し、区内の地域資源である公園や緑道などを維持管理するボランティア団体・個人の活動支援に取り組むとともに、魅力ある豊かな環境資源を広く発信していきます。

また、GREEN×EXPO 2027 の機運醸成に向け、区民が花と緑の大切さを認識し、身近な自然に親しむ機会を広げる取組を地域の皆様と協働して実施します。

1 都筑区花いっぱい運動の推進

区制 30 周年を契機に子供たちに区の花を認識いただくとともに、花への関心を高めるため、区内小中学校にサクラソウの花苗を育て方ガイドブックと併せて配付します。(10～11 月)



《育て方ガイドブック》

2 「^{はやぶちがわ}早淵川・^{ろうばやと}老馬谷ガーデン (HRG)」の維持・管理

地域及び東京都市大学と連携し、早淵川沿いの緑の拠点である HRG の維持・管理に引き続き取り組み、区民の花や緑を大切にする心を醸成するとともに、GREEN×EXPO 2027 の機運醸成を図ります。



《地域と大学生による手入れ》

3 「都筑区水と緑の散策マップ」の活用

「都筑区水と緑の散策マップ」を活用し、都筑区の環境資源の魅力を市民に発信します。

また、物価高騰に伴い価格を改定し、令和 5 年度に改訂したマップを発行・販売しています。(1 部 400 円)



4 みどりとみちのパートナーの推進

身近な道路や公園等を清掃、維持管理するボランティア団体（ハマロード・サポーター、公園愛護会、水辺愛護会）や個人に対して花苗や清掃用具等を提供します。

また、パネル展（7 月 2 日～9 日）等での活動紹介や担い手を増やすための広報を行い活動の活性化を図るとともに、この機会を捉えて GREEN×EXPO 2027 の機運醸成も合わせて行います。

団体数：209 団体（ハマロード・サポーター 52 団体、公園愛護会 154 団体、水辺愛護会 3 団体）※5 月末現在



《パネル展》



《江川せせらぎ緑道のチューリップと桜》



《ハマロード・サポーター》

【再配当事業】 GREEN×EXPO 推進事業（脱炭素・GREEN×EXPO 推進局）

GREEN×EXPO 2027 の開催への参加等につなげるため、引き続き広報PR・機運醸成に向けた取組を進めます。都筑区でも、局と協力して、来場につながる取組を進めます。

【再配当事業】 緑や花があふれる地域づくり事業（みどり環境局）

市民、企業、団体など様々な主体と連携し、全市を挙げて「ガーデンネックレス横浜」を実施し、全市・地域で花と緑による街の魅力創出を進めます。都筑区では、「つづき みどりと花の名所25選」を巡るウォーキングなどを引き続き行います。

【再配当事業】 ハマロード・サポーター事業（道路局）

自治会町内会、企業等のハマロード・サポーター各団体による市道の清掃、美化活動を支援するため、清掃用具の提供等により活動を支援します。

【再配当事業】 公園愛護会活動等支援事業（みどり環境局）

公園の清掃等の日常管理や花壇づくり、利用者のマナー啓発等を行う、地域住民で組織する公園愛護会活動を支援するため、活動面積に応じた報償費等により活動を支援します。



※都筑区のマスコットキャラクター「つづき あい」
第4期都筑区地域福祉保健計画推進・啓発バージョン

都筑区制30周年の取組について

区制30周年を記念した各種取組については、「過去をたずねる」／「今を知る」／「未来を描く」の3つを軸に、「都筑愛」のさらなる醸成につなげることを目的として、これまで進めてまいりました。

引き続き、地域・企業・団体等の皆様とともに一体感を生み出していけるような取組を進めていきます。つきましては、令和6年度の取組状況についてご報告いたします。

1 令和6年度の主な取組状況

引き続き、ふるさとづくり委員会と協働で実施する事業や、区として実施する各種記念事業のほか、地域・企業・団体等の皆様が行う行事や取組及び区の事業等に「区制30周年」の冠をつけ、区全体で区制30周年を盛り上げていきます。

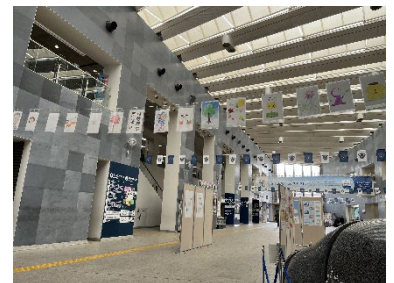
(1) ふるさとづくり委員会との協働で実施する事業

ア 記念動画の制作

都筑区の区制30周年までの変遷を振り返り、これまで中心となって活躍してきた方々の想いを記録するため、記念動画を作成します。また、地域の子どもたちなどこれから活躍する若い世代の未来への希望を地域で共有します。制作した記念動画については、都筑区制30周年記念式典にて公開します。(11月9日)

イ 小学校と連携した取組（装飾物の作成）

区制30周年を子どもたちと共に祝えるよう、夏休みの課題（宿題）の一環として、小学生から都筑区にまつわる絵を募集します。集めた作品をもとにガーランド（連続旗）を作成し、都筑区総合庁舎1階区民ホールに展示します。(10月上旬～)



試作品展示の様子

ウ 第30回都筑区民まつり

オープニングセレモニーで区制30周年を区民の皆様とともにお祝いするなど、30周年を記念した区民まつりを都筑区総合庁舎周辺及びセンター南駅周辺で開催します。(11月3日)

(2) 区づくり推進費で実施する事業

ア 都筑区制 30 周年記念式典

都筑区のまちづくりに尽力された区民への感謝の機会として、式典を開催します。式典は二部制で行い、第一部では区民栄誉賞等の表彰式や感謝状の贈呈式を、第二部では多世代の人が楽しめる催しを行います。

(ア) 日時 令和6年11月9日(土) 14:00～

(イ) 場所 都筑公会堂

(ウ) 内容

第1部：記念式典 14:00～14:40

市歌斉唱

主催者・来賓挨拶

区民栄誉賞・区政功労賞 表彰式

感謝状 贈呈式

区民の歌「夢のつづき」合唱

第2部：多世代の人が楽しめる催し 14:50～16:00

かかし座公演(予定)

イ 都筑区制 30 周年記念 “つづきのたからもの” スタンプラリー (仮称)

都筑区ならではの自然あふれる魅力あるスポットを巡ることにより、都筑区にかかわりのある皆様が、都筑の魅力を知る・再発見する機会をつくります。

ウ 都筑区制 30 周年を契機とした子どもたちが学ぶ伝統楽器体験ワークショップ

地域に根づく伝統文化の共有と次世代への継承という観点から、和楽器(琴・小鼓・琵琶等)体験と本格的な演奏の鑑賞ができるワークショップを、都筑区在住・在学の小・中学生を対象に横浜市歴史博物館で開催し、子どもが伝統芸能に親しむことができる機会を創出します。(9月23日)



鼓体験のイメージ

エ 都筑区制 30 周年記念 キッズスタンプラリー

都筑区内の子育て支援関連施設(地域子育て支援拠点 Popola、市立保育所、民間保育所の子育て広場、親と子のつどいの広場、地域の子育てサロン等)を巡るスタンプラリーを実施します。スタンプラリーをきっかけとして区内に多数ある施設を知って、利用していただくことで、地域で安心して子育てができる環境の醸成につなげます。(10～11月)

オ 都筑区制 30 周年記念特設サイトの運用及び SNS を活用した投稿キャンペーンの開催

都筑区での日常、都筑区につながること（区内の施設やスポット、区内でのイベント等）について、指定するハッシュタグ

「#my つづき」をつけてインスタグラムで投稿してもらい、区民参加型で 30 周年を祝うキャンペーンを開催します。（7 月～12 月）

また、「#my つづき」をつけて投稿された画像については、「みんなの“my つづき”」として、現在開設中の「都筑区制 30 周年記念特設サイト」に掲載します。

キャンペーンの開催にあたっては、多くの区民に参加をいただけるよう、区内大型商業施設や飲食店等に広報媒体を掲示いただく方向で調整を進めています。

MYつづき
Instagram
キャンペーン

キャンペーンロゴ



ロゴ作成の様子
（カプカプ川和）

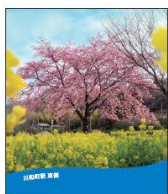
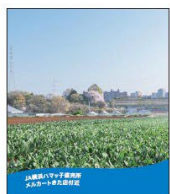
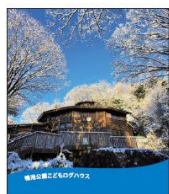
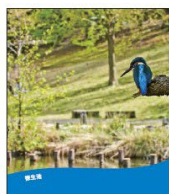
カ 都筑区制 30 周年記念給食における記念品の配付

区内市立小学校（※）において、都筑野菜を使用した区制 30 周年記念給食を実施するとともに、区内市立小学校の全校児童に若手職員による区内プロジェクトが考案した記念品を配付し、地産地消の推進及び「都筑愛」の醸成を図ります。（11 月～12 月）

※給食室の改築を予定している川和小学校を除く

キ 都筑区制 30 周年啓発グッズ（彩（いろいろ）のガーランド）の作成

手で持てる大きさのガーランドを作成し、自治会町内会や商店会、区民利用施設等に配布します。作成したガーランドは、壁面への貼り付けのほか、記念撮影に使用していただくことを想定しています。（6 月下旬～7 月上旬）





令和6年度の GREEN×EXPO 2027（2027年国際園芸博覧会）の 機運醸成の取組について

GREEN×EXPO 2027 の機運醸成を図るため、今年度は認知度の向上に加えて、脱炭素・GREEN×EXPO 推進局と連携した会場コンテンツの紹介等のプロモーションを実施します。

1 令和6年度の取組予定

引き続き GREEN×EXPO 2027 の開催やコンテンツをより多くの皆様へ知っていただくことを目的として、より一層の機運醸成につながるような取組を進めていきます。

【開催 1,000 日前記念イベントの実施】

区役所1階「GREEN×EXPO 2027」特設コーナーに設置中のフラワーアートにペイントする子ども向けのイベントを実施します。（6月22日）環境に優しい素材を使用したイベントにより、環境保全の大切さやSDGsの意識醸成から、GREEN×EXPO 2027の興味につなげる目的です。

■ソラフラワーのペイント

ソラとは、稲の生育を妨げる雑草のため、抜いて廃棄されていた水田に育つマメ科の植物です。そのソラを乾燥させて造花にしたものがソラフラワーです。ソラフラワーはアップサイクル（廃棄予定であったものに手を加え、価値をつけて新しい製品へと生まれ変わらせる手法）で、SDGsとの親和性が高い素材です。

そのソラフラワーに自然素材の水彩絵の具を使用して、カラフルに色付けします。ペイントされたソラフラワーは庁舎内の「GREEN×EXPO 2027」特設コーナーに展示するとともに、フォトスポットとしていただき、GREEN×EXPO 2027に親しみを持っていただけるようにします。



ペイント前のフラワーアート



ソラフラワー

【区庁舎出入口窓にデザインシールを貼付】

消防署側出入口窓の半面に GREEN×EXPO 2027 の機運醸成につながるデザインシールを貼付予定。
(11月)



【区庁舎駐輪場上部の花壇再整備】

区制30周年記念特別事業により花壇を再整備し GREEN×EXPO 2027 の機運醸成を図る予定。（11月）



【ガーデニング講座の実施】

再配当事業によりガーデニング講座を実施し GREEN×EXPO 2027 の機運醸成を図る予定。

【各種イベントでのPR】

区民ホールイベント、区民まつり等で引き続き、広報活動を実施予定。

2 令和5年度から継続した取組み

GREEN×EXPO 2027 の存在認知の向上を目的として、区庁舎内における広報に加え、各種イベントや駅前の公共空間を活用した広報を展開し、区民への機運醸成を図りました。令和6年度も継続した広報を行います。

<p>【ポスター】 区民ホール内の旧液晶モニター両面に掲示するなど、庁舎内全域にポスターを展開。</p> 	<p>【パネル】 PR パネルを作成し6階会議室前に常設。</p> 	<p>【横断幕】 区民ホールの渡り廊下に横断幕を設置。</p> 
<p>【オクタルミナ（内照式のサイン）】 区民ホールで3基常設展示。</p>  <p style="text-align: center;">表面 裏面</p>	<p>【デジタルサイネージ】 区庁舎出入口付近に設置。</p> 	<p>【PRコーナー】 3年前にあたる3月19日に1階区民ホールに特設コーナーを設置。</p> 
<p>【区庁舎内モニター】 1階区民ホール、2階保険年金課窓口、2階エレベーターホールで動画の公式PR動画の放映。</p> 	<p>【センター南駅・北駅前広場の通路屋根の支柱】 乗降客数が多い両駅において、広報PRを展開。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">センター南駅</div>   <div style="writing-mode: vertical-rl;">センター北駅</div> </div>  	